



学校だより

令和6年4月号
令和6年4月19日
校長 小澤 秋仁

<http://www.kiyose.ed.jp/kiyosetyuugakkou/index.html>

新年度を迎えて

校長 小澤秋仁

本年度、清瀬より200km離れた伊豆諸島、三宅島より異動し、清瀬市立清瀬中学校に第十九代校長として着任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

道路の拡張のために、10年ほど前に校庭に根付く桜の大木が伐採されました。その代わりに、植樹された今にも倒れそうであった苗木が成長し、8年ぶりに清瀬中学校に戻った私を、力強く迎えてくれました。気持ち新たに、伝統ある清瀬中学校を、保護者の皆様、地域の皆様にご協力を賜りながら、更に発展させていきたいと存じます。

さて、新年度当たり、本校の教育目標は次のように掲げられています。

「人間尊重を基本理念に、国際的な視野にたち、平和を愛する社会人の形成を目指して」

- 正しい判断力と粘りづよい実践力をもった生徒を育てる
- 健やかな身体と豊かな情操をもった生徒を育てる
- 高い知性とたくましい創造力をもった生徒を育てる

この目標を達成するために、生徒の主体性と柔軟な思考に加え、失敗しても粘り強く取り組むたくましい姿勢を育てなければなりません。生徒の主体性を引き出し、失敗を繰り返し修正しながら、自己決定を促し、自己決定を繰り返す力を育成する教育を実践してまいります。

当初気象庁によれば桜の開花は3月中旬と予想されておりました。その情報から察するに、始業式・入学式の頃には散ってしまうのではと心配をしておりましたが、その後の通過した寒波により、つぼみの開く速度は低下。つぼみは、気温の下降に対応し、春のぬくもりに包まれるまで、じっと耐え忍んでいました。そして、4月に入ると、次から次へと淡いピンクの花弁を広げ、新年度に彩を添えました。今は、少しずつ葉が芽吹き始め、緑色を濃くしていきます。これもまた魅力です。

清瀬中学校の桜は気温に柔軟に対応しています。また、風に吹き飛ばされることなく、しぶとく花弁を掲げていました。清瀬中の生徒一人一人が今年の校庭の桜のように、柔軟にかつ粘り強く創造する。それらがクラスや学年の力として波及していくことで、清瀬中は葉桜の緑が深まるがごとく、魅力を深めていきます。

令和6年度の清瀬中学校は「みんなで幸せになる」ために動き出しました。

◆◆◆ 4月の生活目標 ◆◆◆

出会いを大切に!

新しい友達・先生に笑顔であいさつしよう。



令和6年度が始まりました。

アイスブレイクによる交流等に始まり、係決めや委員会決め、検診や身体測定など、1学期の重要なイベントが続いています。今週に入り各教科の授業が始まりました。



どのクラスも集中して授業に取り組んでいます。



1年生の社会の授業では、オリエンテーションです。初々しい眼差しを見ることができました。



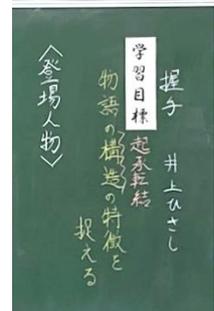
学校生活に体力は必要です。体育の授業はランニングからスタート。掛け声が校舎に届きました。アップが終わると短距離走でタイムを計測しました。



プロジェクターや電子黒板を使用して授業を展開しております。



音楽は校歌の練習です。本校の校歌は、俳人・石田波郷氏の作詞です。合唱が学校を創るとも言われています。波郷氏の綴った言葉を大切に歌い継ぎます。



3年生の国語は井上ひさし作「握手」を用いて、文の構造、いわゆる「起承転結」を捉えることを目標にしています。令和6年度、清瀬中は現在、起承転結の「起」を突き進んでいます。

南極教室開催



4月30日に南極昭和基地の皆さんと全校生徒でオンラインによる交流をもちます。それに先駆けて、国立極地研究所から、昭和基地近くの冰山から手作業で割り取った氷が贈られてきました。2万年前の空気が閉じ込められ白く濁って見えるそうです。昼休みに理科室前に展示しました。

ミニコンサート開催



4月18日の昼休みに、吹奏楽部によるミニコンサートが開かれました。

「名探偵コナンのテーマ」と緑黄色社会の「Mela!」を演奏しました。新入生歓迎のコンサートでしたが会場には2.3年生の姿もあり、溢れんばかりでした。